

予期せぬ急変に備えて

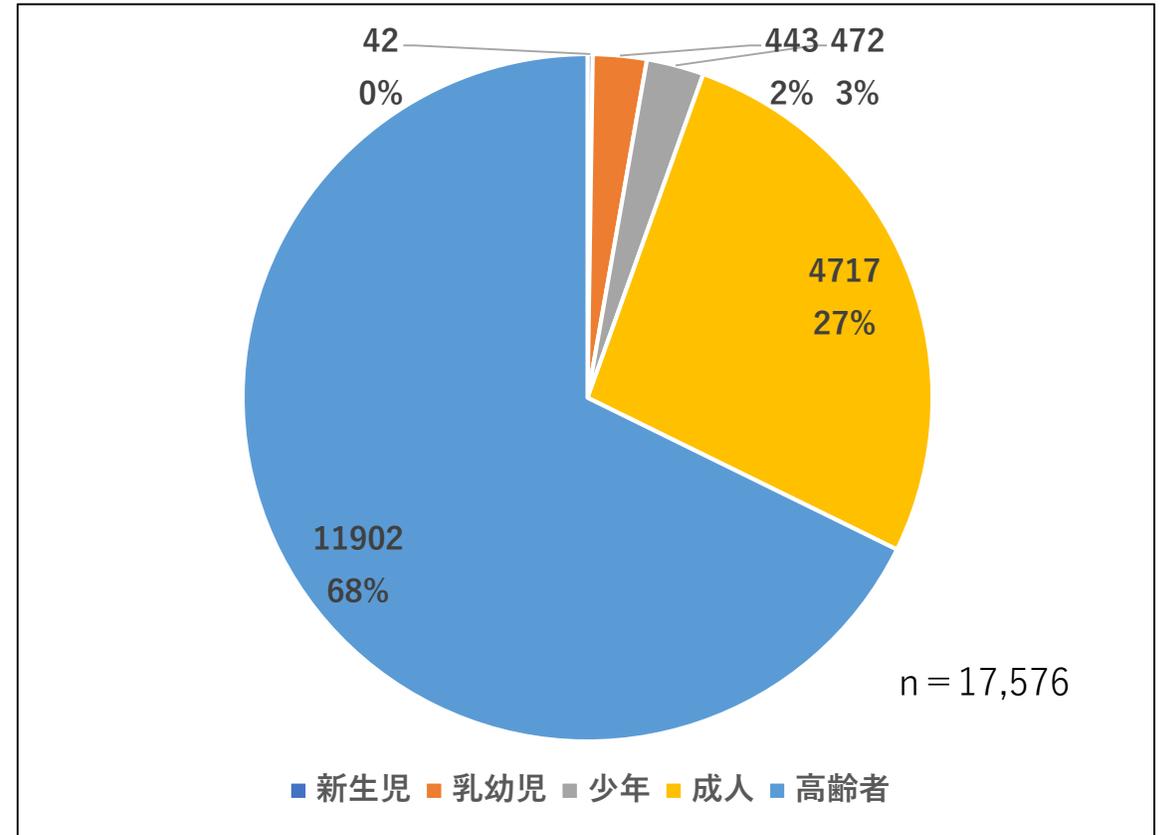
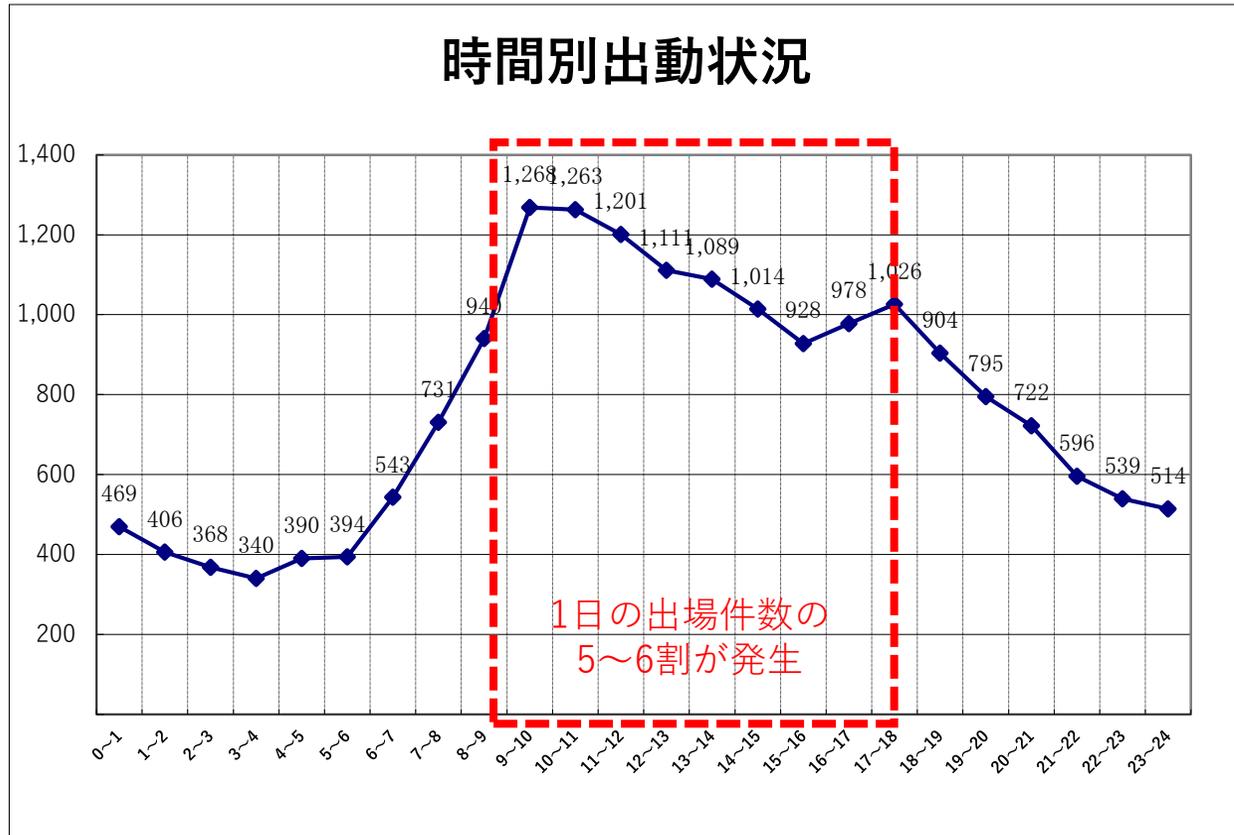
～地域の救急隊を知る～

予期せぬ急変に対応するには、協働が必要不可欠

= まずは「地域の救急隊」を知る

令和7年の函館市救急出場統計と活動実績

□統計上から見る時間帯別の出場件数と搬送傷病者年齢区分



※高齢者の搬送件数は成人の約2.5倍

※ただし、市内の高齢者数はR2（2020）を境に減少傾向



救急隊とは？

(どのような任務を有しているのか？)

関係法令から読み解く救急隊の任務

【消防法】

- ・ **第一条** この法律は、火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、**国民の生命、身体及び財産**を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、**災害等による傷病者の搬送を適切に行い**、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資することを目的とする。

- ・ **第二条第九項** 救急業務とは、**災害により生じた事故**若しくは**屋外**若しくは**公衆の出入りする場所**において生じた**事故**又は政令で定める場合における**災害による事故等に準ずる事故**その他の事由で政令で定めるものによる傷病者のうち、医療機関その他の場所へ**緊急に搬送する必要がある**ものを、**救急隊によって医療機関その他の場所に搬送**することをいう。

(下線部は後ほど説明)

関係法令から読み解く救急隊の任務

【消防法施行令】

- ・ **第四二条** 法第二条第九項の災害による事故に準ずる事故その他の時由で政令で定めるものは、屋内において生じた事故又は生命に危険を及ぼし、若しくは著しく悪化するおそれがあると認められる症状を示す疾病とし、同項の政令で定める場合は、当該事故その他の事由による傷病者を医療機関その他の場所に迅速に搬送するための適切な手段がない場合とする。

この改正により、正式に「急病人」を取り扱えることになった！！

※令和7年【急病】での出場数～12,946件（全体の69.9%）

救急救命士の誕生

□各国の医療制度から我が国の救急隊の未来を模索

当時の救急隊員の処置内容は、応急手当に準じ、社会復帰率は低く、救命率の低さも問題であった

※ パラメディック制度（米国）を採用し、平成3年【救急救命士】が誕生となる

救命士は医師の具体的指示があれば、特定行為が実施可能

◎ 包括的指示下での除細動（当初は具体的指示）

◎ 器具を用いた気道確保（※気管挿管）

◎ 静脈路確保（※心肺停止前） + （※薬剤投与， ※ブドウ糖投与）



参考：緊急度判定プロトコル

□情報を共通言語に変える工夫

表1 緊急度とその定義

緊急度	定義	サブカテゴリー
赤 (緊急)	<ul style="list-style-type: none"> ◆すでに生理学的に生命危機に瀕している病態。 ◆増悪傾向あるいは急変する可能性がある病態。 ※気道・呼吸・循環・意識の異常、ひどい痛み、増悪傾向、急変の可能性から総合的に判定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【赤1】極めて緊急性が高い病態であるため、緊急に搬送する必要がある病態。 【赤2】緊急性が高い病態であるため、緊急に搬送する必要がある病態。
黄 (準緊急)	<ul style="list-style-type: none"> ◆時間経過が生命予後・機能予後に影響を及ぼす病態。 ※痛みの程度、訴えや症状の強さについても考慮する。 	赤ほど緊急性は高くないが、医療機関への早期受診が必要な病態。
緑 (低緊急)	◆上記には該当しないが、受診が必要な病態。	
白 (非緊急)	◆上記に該当せず、医療を必要としない状態。	

- ・共通のスケール（物差し）を持つことで、相互理解＝使える情報となるのでは？

※ 総務省消防庁：緊急度判定プロトコルより引用

表2 呼吸に関連した指標による緊急度の目安（成人）

呼吸	
赤1	SpO ₂ 90%未満 呼吸回数10回/分未満または30回/分以上
赤2	SpO ₂ 90%以上92%未満
黄	SpO ₂ 92%以上94%未満

表3 循環に関連した指標による緊急度の目安（成人）

循環	
赤1	収縮期血圧90mmHg以下または200mmHg以上 心拍数120回/分以上または50回/分未満

表4 意識に関連した指標による緊急度の目安（成人・小児）

意識	
赤1	GCS3-8、JCS100-300
赤2	GCS9-13、JCS2-30
黄	新たに出現した軽度の意識障害(GCS14・JCS1)
緑	慢性的な軽度の意識障害(GCS14・JCS1)

情報整理のためのツール

□困ったら、「急変時対応シートなど」を使ってみてください

急変時対応シート (Ver.2 H29.8) 下記に必要項目を記入の上、救急隊へお渡しください！

患者名	氏名	住所	市区町村	町	丁目	番	号		
	姓・大・中	年月日	入所施設名						
性別	男・女	年齢	(歳)	出身地	市区町村	町	丁目	番	号
	性別(別名)	年齢(別名)	(歳)	TEL (別名)	(別名)	(別名)	(別名)	(別名)	
居住・世帯	世帯主	緊急連絡先	氏名	性別	年齢	(歳)	TEL (別名)		

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気の可能性があります。

緊急対応日 平成 年 月 日

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

急変時対応シートについて

＜活用目的＞
①救急要請判断の参考にするため
②救急隊へのスムーズな情報提供を行うため

＜記入例＞ 急変時対応シート (Ver.2 H29.8) 下記に必要項目を記入の上、救急隊へお渡しください！

＜作成注意＞

- 救急要請を行った時には必要項目を記入の上、救急隊へお渡し下さい。
- このシートは、救急発症時に最低限必要な情報となっている。必要情報等、その他必要と思われる情報は追記してご活用下さい。
- いざという時に慌てないように、あらかじめ上部の基本情報欄に事前記入可能な情報を記入しておくことスムーズな対応につながります。
- 事前に基本情報を記入したシートは、各入院(入居)者の台帳等に事前にファイルしておき、いざという時に備えておくことをお勧めいたします。
- このシートの活用に関しては、あくまでも推奨するものであり、このシートがなければ救急搬送できません。
- 誰が記入し、誰が管理し、誰が救急隊に渡すのが等々、各施設で作成している急変時対応マニュアルや急変時対応の流れに組み込んで頂く等、各施設でのご検討、ご活用をお願い致します。
- 個人情報取り扱いに関しては、各施設で定めている個人情報保護対策を踏まえた上でご活用ください。

←様式は問いません。
書くことで、情報が整理され
自身の中で“何が分かって”
“何が分からない”のかが
はっきりします
(時間があればで結構です)

(まとめ)

救急隊とは、救命を最優先とし、
医療機関へ搬送する任務を
有している



救命が最優先である故に…

□ D N A R について

- ・ 意向を確認しても“**救命／搬送**”を主眼として対応していくことが基本
⇒ **119番通報** ⇒ **救命を希望** ⇒ **搬送を必要** と救急隊は理解する
 - ・ 当市では内規（DNAR事案活動要領）により，対応を明文化
⇒ 基本は，救急活動の説明を行い，心肺蘇生を実施しながら搬送する
 - ・ 法整備やMC体制下での共通認識等も十分とは言い切れない
- ※ 現在，北海道救急業務高度化推進協議会にて，対応方法を検討中
今後，道南圏でもプロトコル等の作成が進んでいく予定



マイナ救急について

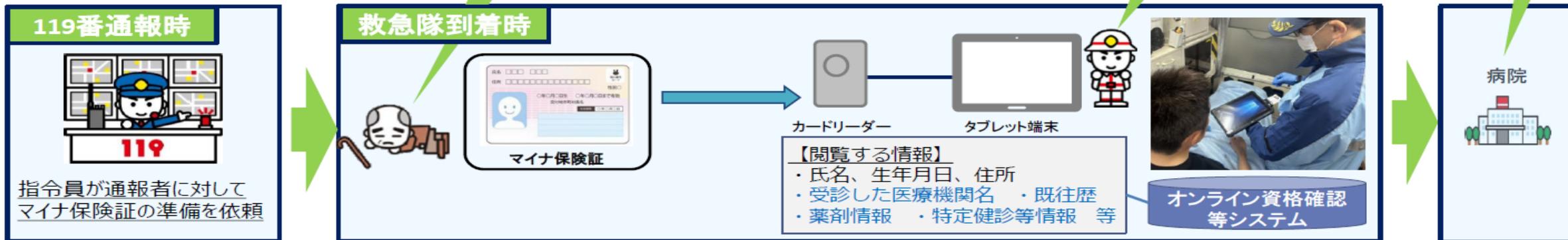
(ちょっとだけ広報です)

マイナンバーカードを活用した救急業務（マイナ救急）

事業概要

➤ マイナ救急とは、救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、病院選定等に資する情報を把握することにより、救急業務の円滑化を図る取り組み。

1. マイナ救急の流れ



2. 救急隊からの声（令和6年度実証事業）

- ・高齢者夫婦のみで、情報収集が困難だったが、マイナ保険証から情報が取得できた。
- ・外出先の事故でお薬手帳を所持していなかったが、薬剤情報が分かった。
- ・頭痛の症状が強く会話が困難であったため、マイナ保険証から情報を取得できた。
- ・意識障害で、家族も傷病者の情報を把握しておらず、マイナ救急が活動に役立った。

3. スケジュール

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実証実験 6本部30隊	調査研究 システム要件設定	実証事業 67本部660隊	全国展開の推進
		システム改修	
		〔閲覧可能な機関として消防本部を新たに追加 救急隊専用の現場で使いやすい閲覧画面〕	

4. 政府方針（令和6年6月21日閣議決定）

- 「経済財政運営と改革の基本方針2024」
3. 投資の拡大及び革新技術の社会実装による社会課題への対応
(1)DX
(デジタル・ガバメント)
カード活用による救急業務の迅速化・円滑化について全国展開を推進する
- 「デジタル社会の実現に向けた重点計画」
b マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化
救急隊がマイナンバーカードを活用して、オンライン資格確認等システムから傷病者情報を正確かつ早期に把握することによる救急業務の迅速化・円滑化について、2024年度に先行実施する67消防本部660隊が参画する全国規模の実証事業の結果を踏まえ、2025年度に全国展開を推進する。

ご清聴ありがとうございました